

経営学検定試験 過去問題 解答・解説【中級編】正誤

大変恐縮ですが、該当ページを以下に読み替えてくださいますようお願い申し上げます。

経営能力開発センター (03-3403-1472 m-ken@noma.or.jp)

【1】P71

第21問 正答 3 2 ④

→ 正しくは ③

【2】P302

第62問 解説①試用期間中は留保解約権があるので

→ 正しくは ①試用期間終了後は留保解約権があるので

【3】P304

第74問 解説④救済期間は労働委員会

→ 正しくは ④救済機関は労働委員会

【4】P353

第57問 解説3行目 「垂直競争」は④に該当

→ 正しくは 「垂直競争」は③に該当

【5】P614およびP640

第53問 (設問3)

基本となる計算式は

正味現在価値＝予測期間のフリーキャッシュフローの現在価値＋継続価値の現在価値

よって、今回は以下の式で表すことができます。

$$-1000 \times 1.0 + 300 \times 0.91 + 400 \times 0.83 + 500 \times 0.75 + 550 \times 0.68 + 550 / (0.1 - 0.02) \times 0.68$$

$$= -1000 + 273 + 332 + 375 + 374 + 4675 = 5029 \text{ となります。}$$

今回の解答には「4年目の現在価値を足し忘れている」というミスがあり、解答・問題共に誤っております。正解は5029百万円となります。

なお、最初の投資コストは含めないのではないか、というご指摘がありますが、DCF法に基づくPV(資産価値)においては、確かに初期投資を考えません。しかし、今回解答すべきNPV(正味現在価値)は、初期投資(マイナスのキャッシュフロー)を考慮に入れるため、今回は初期投資額1000百万円をPVから引く必要があります。

(参考：中級テキスト P126) (参考：経営財務入門 日本経済新聞出版社 P582)